

セントとなつてゐる。工業に於ける生産は一九二九年の二百十億二千五百余萬圓から、一九三三年には四百十九億六千八百萬圓に増大してゐる。かくの如く労働者農民の生活は、年一年と向上してゐるのと共に歐洲小協商國との間には勿論、フランス、アメリカとの間に通商、不侵略條約を結び更らに、本年九月には、國際聯盟に加入し東洋にあつては日本帝國主義のライライ主義歐洲國に對し北緯を離り渡し、九月の關西地方大暴風には列國資本主義に先んじて、十萬圓の救済金を送ることとした。ソヴェットロシアは平和政策の旗を高く掲げて國際外交界に乗り出したのである。然るに恐慌にナヤム資本主義國はロシアに對する反感を昂め、殊に日本帝國主義は滿洲問題、列車阻攔、飛行機破壊、福澤事件やロシアの労働者農民の窮乏化等々ロシアに對する

資本家地主共のギマ（暴風傳）はトバサレ、一般労働大衆のロシアへの憧れ情緒を助き憤激反感を起かめるところに於て、タニエ本戦等の手がかりを作らうとしてゐるのである

二、日本の状勢

イ、滿洲事變以來、年々支出される尨大な軍事費による軍需品の製造、金輸出禁止や、財政インフレによる國爲替の著しい下落とソシアリズムの日本商品の輸出増加は化學、機械、金屬工業等の發展をみるやうになり、ひいては全工業にわたつて刺激が與えられ、諸物價は上り、工場の新設擴張が進められる等、日本資本主義は、昭和八年以後になつて、近來稀にみる活況を現らはしてきたやうである

之を商品の生産についてみると化學、機械、金屬、鑛山等